
私たちのストーリーを分かち合う即興劇 プレイバック・シアター

会 場：米子コンベンションセンター 国際会議室

日 時：平成 23 年 12 月 4 日（日）13：10～14：40（90 分）

主 催：日本心理劇学会（第 17 回大会）

参加費：無料

担 当：羽地朝和（NPO 法人プレイバック・シアターらしんばん理事長）

日常のなにげない場面や人生のさまざまな思い出の一場面を語る人がいて、それに真摯に耳を傾けて劇として表現する人がいる。そしてそれを見守る観客がいる。

プレイバック・シアターでは私たちのストーリーを即興の劇を通してその場にいる全員で分かち合います。最近では学校や公共施設で子どもたちと行うことが多くなりました。また人々がより深く交わり合うコミュニティづくりや国際交流を目的としたイベント、グループセラピーの場でも行っています。

20 年前、創始者ジョナサン・フォックスが日本の人々にあてたメッセージの中に「プレイバック・シアターの最終的な目的は、批判なしに人の話に耳をかたむけることができ、集団の中で行動でき、自発的になれる、心を大きく開けるようになることです」とあります。家庭や学校、企業、そしてコミュニティの中で、これらのことを育んでいきたいと思いません。心を大きく開ける場を一緒につくっていきましょう。

羽地朝和（はねじ ともかず）プロフィール

日本心理劇学会 常任理事 NPO 法人プレイバック・シアターらしんばん 理事長

臨床領域、学校教育、国際交流、組織開発等の様々な領域で活動を行っている。最近ではふるさと沖縄、アジア各国で子供たちとプレイバック・シアターを行い、実践と普及につとめている。

後 援

鳥取県、米子市、鳥取県教育委員会、米子市教育委員会

社団法人日本精神科病院協会鳥取県支部、特例社団法人日本精神科看護技術協会鳥取県支部

鳥取県臨床心理士会、鳥取県精神保健福祉士会、鳥取県作業療法士会

鳥取県市町村保健師協議会、財団法人とっとりコンベンションビューロー

日本のみなさん、お元気ですか。

今日、こうしてみなさんに私のプレイバック・シアター（以下P.T.）をご紹介できることとてもうれしく思います。

P.T.では、みなさんの体馬喰を言話し合い、さらにそれを参加者が演じることで、互いの人生観や経馬喰を分かち合います。その中から、王になることの意味や自分の中に深く眠っていたものを呼びさますためです。

一人一人が色々な役を演じあがり、ある人は親になたり、またある人は子になたり、時には木阴に食いつくあるたるませんや道端の草花になたりもするわけです。毎日の中で私たちはさまざまな状況や立場におかれます。この先向が待ち受けているかを知ることもなく、それに対応しなければなりません。そんな人生というものに、私たちは勇敢にしてクリエイティブに立ち向かっていくことが、できるでしょうか。

P.T.の最終的な目的は、批判無しに人の言話しに耳をかたむけることができ、集団の中で行動でき、自発的になり、心を大きく開けるようになることです。

P.T.は劇場ではありませんが、とてもドラマチックです。

P.T.は決して療法ではありませんが、きくゆて治療力があります。

P.T.はゲームでもありませんが、とても小愉快です。

私は、P.T.が洞察力、健全な人間関係そして新たな創造性への、有交力な手がかりだと信じています。

今、この瞬間、私も日本において、皆さんのお話しを聞くことができたと願わずには、いきません。

Jonathan Fox